

令和7年度

第19回 しずおかスポーツフェスティバル剣道東部地域大会

兼 第28回 静岡県東部地区剣道大会



提供：沼津市

日	時	令和7年9月21日（日曜日）
集合・受付		午 前8時30分
開 会 式		午 前9時30分
会 場		香陵アリーナ（沼津市総合体育館）
主 催		（公財）静岡県スポーツ協会、静岡県
共 催		静岡県教育委員会
主 管		県実行委員会、東部地域実行委員会、地域連絡協議会、 静岡県東部地区剣道連盟、沼津市剣道連盟
協 賛		（公財）スポーツ安全協会スポーツ普及奨励助成事業
協 力		沼津市、沼津市スポーツ協会
後 援		（一社）静岡県剣道連盟、沼津市剣道連盟 静岡新聞・静岡放送

スポーツくじ



スポーツ振興くじ助成事業

令和7年度 第19回しずおかスポーツフェスティバル

本日ここに、令和7年度第19回しずおかスポーツフェスティバル「剣道競技東部地域大会 兼 第28回東部地区剣道大会」が盛大に開催されますことは誠に意義深く、喜びに耐えません。

本年で19回目となります「しずおかスポーツフェスティバル」は、「スポーツの魅力」を伝えることを目指して毎年開催され、各市町体育・スポーツ協会及び関係団体の皆様が中心に運営される、地元に着した素晴らしい大会であります。

スポーツは、人と人、地域と地域との交流を育み、地域の一体感と活力を向上させるとともに、心身や健康の保持増進に大きな役割を果たしています。

また、国内外のスポーツ大会における本県関係選手の活躍は、県民に誇りと喜び、夢や感動を与えてくれます。

本大会においては、単に技術や体力を競うだけでなく、フェアプレー精神、チームワーク、そして新しい競技へのチャレンジなど、スポーツの持つ力で笑顔があふれる楽しい大会の開催を期待しています。

参加される皆様が、“それぞれが目指すスポーツの形”で充実した大会となるとともに、様々な競技を通じて子供から高齢者まで多世代にわたる交流により、地域が活性化することを祈念しております。

結びに、本大会の開催にあたり、ご尽力いただきました関係者の皆様に心から感謝申し上げまして、私からのメッセージといたします。

令和7年9月21日

令和7年度第19回しずおかスポーツフェスティバル

大会会長 中谷多加二

令和7年度 第19回しずおかスポーツフェスティバル

期 日	令和7年5月～令和8年1月
開催地	〈東部地域〉 沼津市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、富士市、御殿場市 下田市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、東伊豆町、河津町 南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町、小山町 〈中部地域〉 静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町 〈西部地域〉 浜松市、磐田市、掛川市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、森町
主 催	(公財) 静岡県スポーツ協会、静岡県
共 催	静岡県教育委員会
主 管	県実行委員会、各地域実行委員会、各地域連絡協議会、実施主管団体
協 賛	(公財) スポーツ安全協会スポーツ普及奨励助成事業
協 力	開催市町体育・スポーツ協会 開催地域市町種目別競技団体、開催市町、開催市町教育委員会、静岡県種目別競技団体 高体連、中体連、静岡県スポーツ少年団

大 会 役 員

名誉顧問	齊藤斗志二	鈴木 康友			
会 長	中谷多加二				
副 会 長	都築 直哉	池上 重弘	鈴木 利幸	庄司 政史	佐々木 禎
	松井 和子	諏訪部 豊	朝倉 徹	長澤 滋文	
顧 問	平野 孝雄	鈴木 勝彦	木内 貴史	矢崎 昭子	高橋 宏二
	山本 章	竹原 悠子	山口 嘉一	頼重 秀一	齊藤 栄
	豊岡 武士	須藤 秀忠	田久保真紀	小長井義正	勝又 正美
	松木正一郎	村田 悠	菊地 豊	山下 正行	岩井 茂樹
	岸 重宏	岡部 克仁	深澤 準弥	星野 淨晋	仁科喜世志
	関 義弘	池田 修	込山 正秀	難波 喬司	染谷 絹代
	中野 弘道	北村 正平	杉本基久雄	田村 典彦	蘭田 靖邦
	中野 祐介	草地 博昭	久保田 崇	大場 規之	田内 浩之
	下村 勝	長谷川寛彦	太田 康雄		

しずおかスポーツフェスティバル県実行委員会

実行委員長	飯田 康仁			
実行副委員長	都築 直哉	杉山 誠一	芹沢 豊	菅本 利孝
委 員	武田 知己	稲葉 晴伸	夏目 伸二	
	〈生涯スポーツ委員会常任委員〉			
総務・記録	福永 秀樹	長嶋 清乃		
経 理	河戸 佑太	吉住理恵子		

令和7年度 第28回 静岡県東部地区剣道大会

大会役員

大会会長	静岡県剣道連盟副会長 静岡県東部地区剣道連盟会長	田中康宏
大会顧問	静岡県剣道連盟会長 静岡県剣道連盟顧問 静岡県剣道連盟顧問 静岡県剣道連盟参与 静岡県剣道連盟参与 静岡県剣道連盟参与 静岡県剣道連盟参与 静岡県剣道連盟参与	二橋高弘 山崎正博 宮原昇治 金刺實亮 高木亮 山形泰一 土屋京二 芳賀嘉幸
大会副会長 (順不同)	三島剣道連盟会長 賀茂剣道連盟会長 伊豆東剣道連盟会長 富士市剣道連盟会長 富士宮剣道連盟会長 御殿場剣道連盟会長 裾野市剣道連盟会長 沼津市剣道連盟会長	古賀恵介 和泉正樹 菊地昌司 渡邊典夫 海野隆 小林力 山本純郎 江本秀澄
参与 (理事長)	大年正行(賀茂) 遠藤豊(三島) 望月弘和(富士市) 松野智也(御殿場)	大島尋隆(伊豆東) 深澤英史(富士宮) 仮屋実(裾野市) 川内豊(沼津市)
運営委員 (事務局長)	糸賀貢三(賀茂) 斎藤道隆(三島) 遠藤正人(富士市) 石原圭吾(御殿場)	加藤勝則(伊豆東) 足立和俊(富士宮) 澤田匡(裾野市) 大澤久美子(沼津市)

大会委員

大会委員長	沼津市剣道連盟	会長	江本 秀澄
総務	沼津市剣道連盟	副会長	小山 正洋
	沼津市剣道連盟	副会長	川内 豊
	沼津市剣道連盟	副会長	千葉 雅史
	沼津市剣道連盟	理事長	川内 豊
	沼津市剣道連盟	事務局長	大澤久美子
運営委員長	沼津市剣道連盟	大会運営委員長	江藤 純
運営委員	高橋 克明	池谷 宏史	栗田 博庸
	田村 穂高	妻木 昌教	林 直美
受付	佐藤 伸一	實石 和明	石原 敏行
会計	山本智友理	石原 敏行	
記録	大澤久美子	山本智友理	妻木 陽子
	三留このみ	赤坂 尚美	頼重真由美
			濱口 景子

審判

審判長 剣道教士七段 平井 祐次

審判員（順不同） ○印は審判主任

第一試合場			第二試合場		
○	室伏 幹夫	富士宮	○	濱西 司	沼津市
	構 正行	沼津市		秋庭 裕	富士市
	小出 恭士	伊豆東		小柴 幸高	伊豆東
	遠藤 広道	富士市		橘 栄一	三島
	笹川 政雄	三島		樋口 大輔	御殿場
	河井 伸一	賀茂		諏訪部 聡	富士宮
	松野 智也	御殿場		飛田 隆博	三島
	池谷 宏史	沼津市			
第三試合場			第四試合場		
○	今岡 裕貴	富士市	○	高橋 克明	沼津市
	鈴木 大介	富士市		佐藤 伸一	沼津市
	大川 茂和	賀茂		土屋 和洋	富士市
	大木 元子	沼津市		佐野修一郎	富士宮
	菊地 兼吾	伊豆東		仮屋 実	裾野市
	遠藤 佳人	富士宮		畠山 一之	伊豆東
	小野 雄大	三島		堀田 健	三島

審判員（順不同） ○印は審判主任

第五試合場

○ 大島 一士 富士市
野村 幸央 沼津市
山崎 卓司 伊豆東
望月 宏宣 富士宮
鈴木 睦未 沼津市
足立 哲朗 三島市
大田 義行 伊豆東

試合場係

第一試合場	第二試合場	第三試合場
後藤ゆかり	鈴森 昌子	實石 和明
補助役員 4 名	補助役員 4 名	補助役員 4 名

第四試合場	第五試合場
清水 寛太	石原 敏行
補助役員 4 名	補助役員 4 名

大会次第

開会式

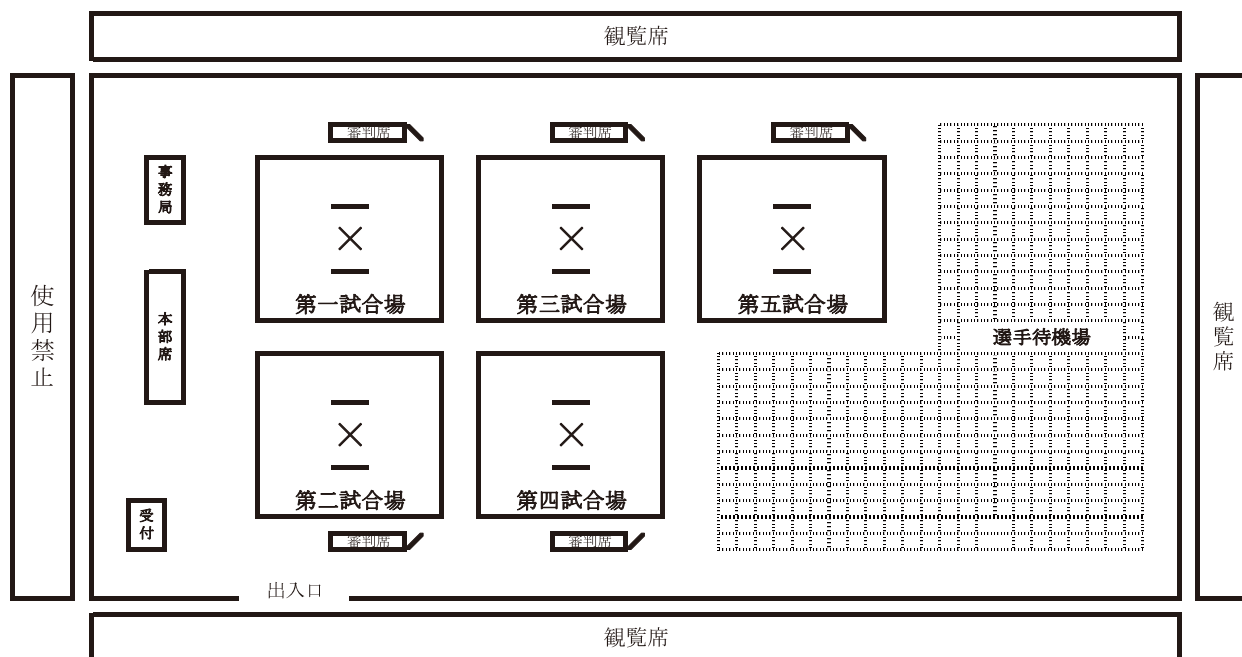
- 1 役員・選手整列
- 2 国旗拝礼
- 3 開会宣言
- 4 優勝杯返還
- 5 大会会長挨拶
- 6 来賓祝辞
- 7 来賓紹介
- 8 試合上の注意
- 9 選手宣誓
- 10 運営上の注意
- 11 演武

打太刀 教士七段 野村 幸央
仕太刀 六段 池谷 宏史

閉会式

- 1 役員・選手整列
- 2 成績発表
- 3 表彰
- 4 審判長講評
- 5 閉会宣言
- 6 国旗拝礼
- 7 役員・選手退場

試合会場配置図



試 合 進 行 表

	第一試合場	第二試合場	第三試合場	第四試合場	第五試合場
9:50～	男子団体戦 (50歳未満の部) 1～5 14～15 (7試合)	男子団体戦 (50歳未満の部) 6～10 16～17 (6試合)	男子団体戦 (50歳未満の部) 11～13 18～20 (6試合)	女子団体戦 2～5 (2試合)	女子団体戦 1, 6～13 (10試合)
12:00	準決勝・決勝	準決勝		男子団体戦 (50歳以上の部) 1～9 (8試合) 準決勝・決勝	準決勝・決勝

昼休み

12:30～	男子個人戦 (35歳未満の部) 1～33 (33試合)	男子個人戦 (35歳未満の部) 34～65 (31試合)	男子個人戦 (35～50歳の部) 1～39 (38試合)	女子個人戦 (35歳以上の部) 1～11 (10試合) 準決勝	女子個人戦 (35歳以上の部) 12～21 (10試合) 準決勝・決勝
15:30	準決勝・決勝	準決勝	準決勝・決勝	男子個人戦 (50歳以上の部) 1～30 (29試合) 準決勝・決勝	女子個人戦 (35歳未満の部) 1～23 (22試合) 準決勝・決勝

※試合場は、進行により変更することがあるので注意すること。

試合規定 全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則／同細則」及び「感染症予防ガイドライン」に沿って行う。

試合方法 団体戦・個人戦共にトーナメント方式を採用する。

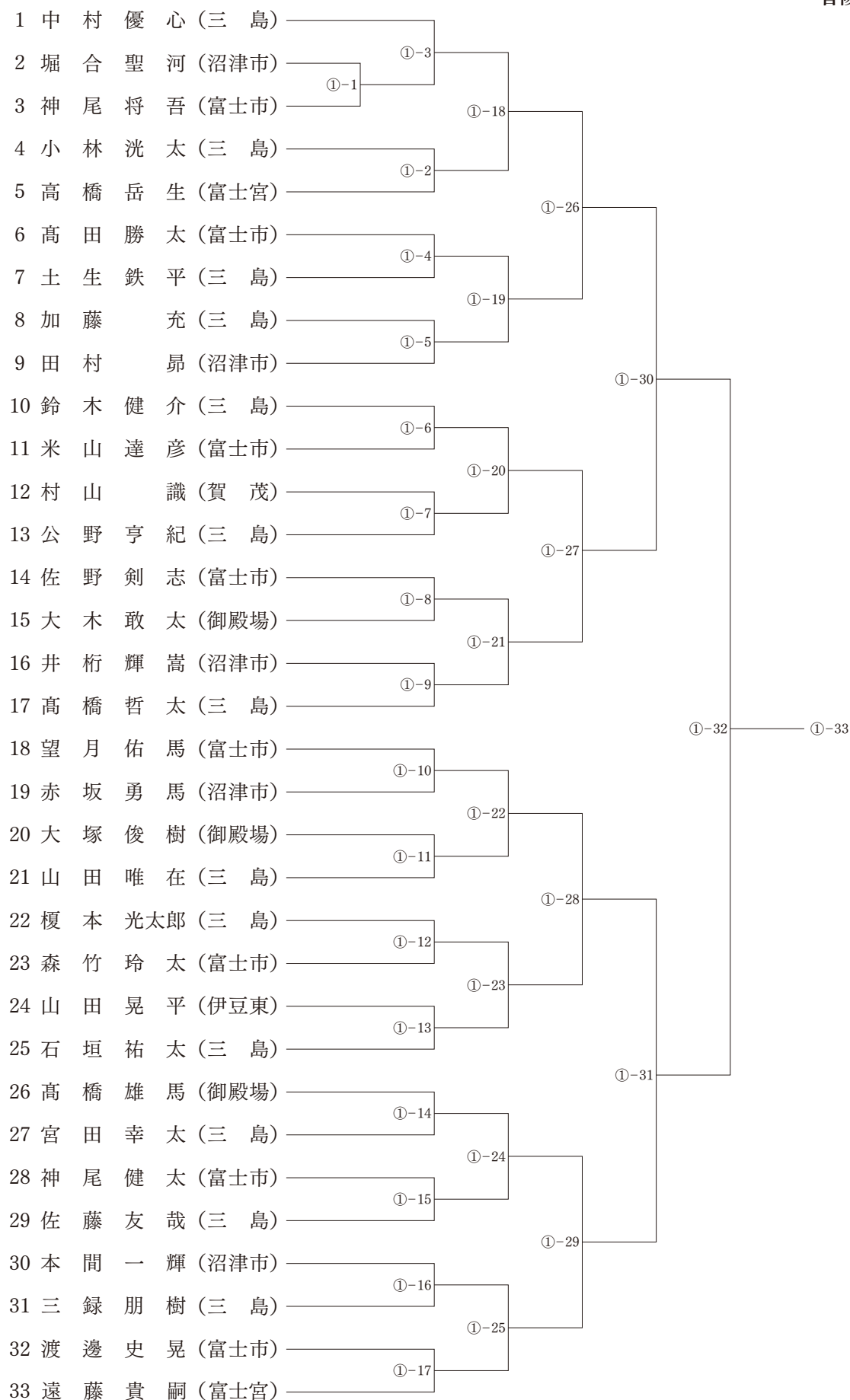
試合時間
(団体戦) 試合時間 3 分 3 本勝負とし、時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとする。
団体戦としての勝敗は、勝者数法によるが、勝者数が同数の場合は取得本数による。
それも同数の場合は、任意の代表者戦により 3 分 1 本勝負を行う。
それでも勝敗が決しない場合は 3 分毎に時間を区切って勝敗が決するまで行う。

(個人戦) 試合時間 3 分 3 本勝負とし、時間内に勝敗が決しない場合は判定とする。
準決勝から時間内に勝敗が決しない場合は、3 分 1 本勝負を行う。
時間内に勝敗が決しない場合は 3 分毎に時間を区切って勝敗が決するまで行う。

表 彰 団体戦・個人戦共に、1 位から 3 位までを表彰する。3 位決定戦は行わない。

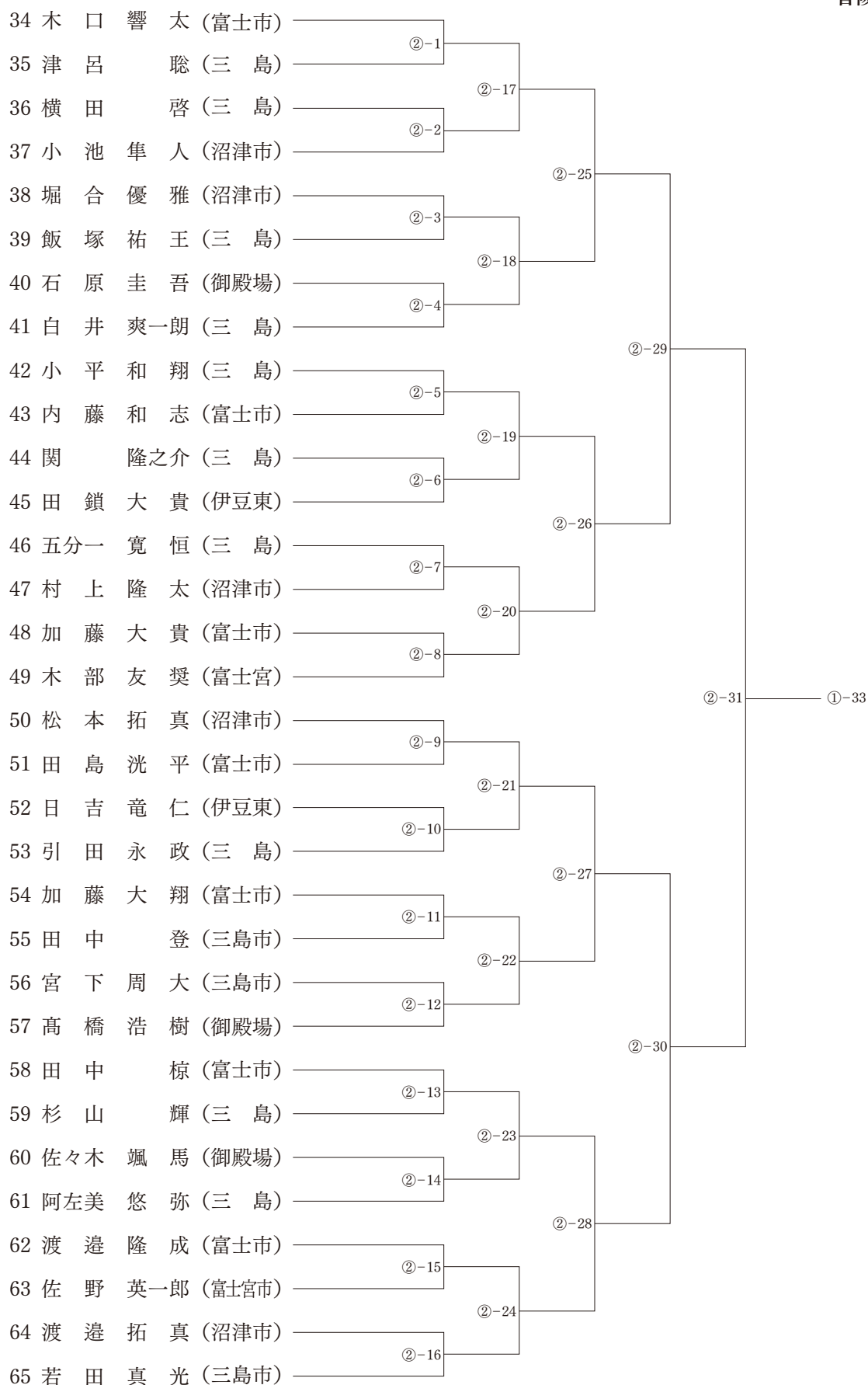
個人戦 男子35歳未満の部（1）

東部地区剣道大会
香陵アリーナ



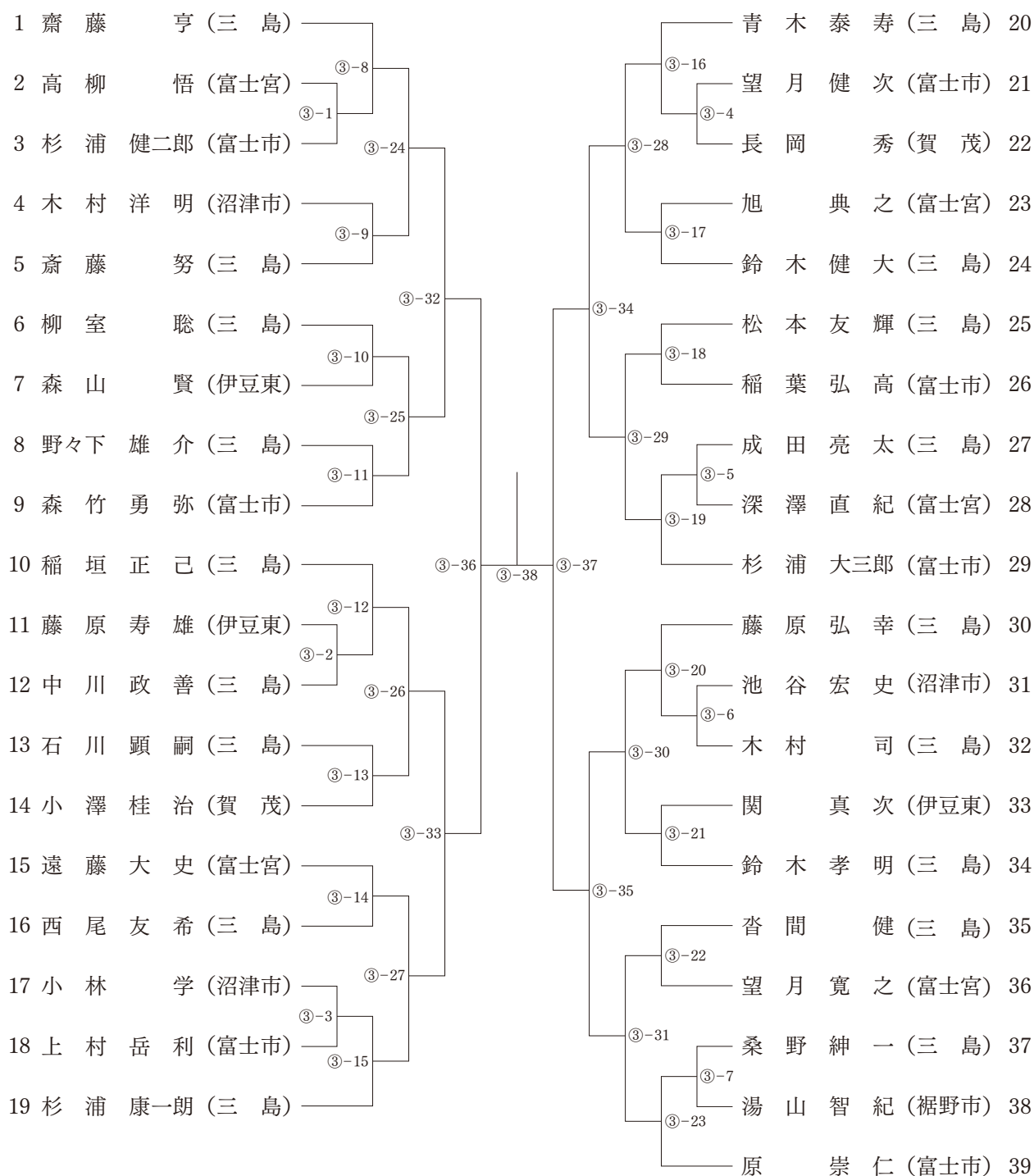
個人戦 男子35歳未満の部（2）

東部地区剣道大会
香陵アリーナ



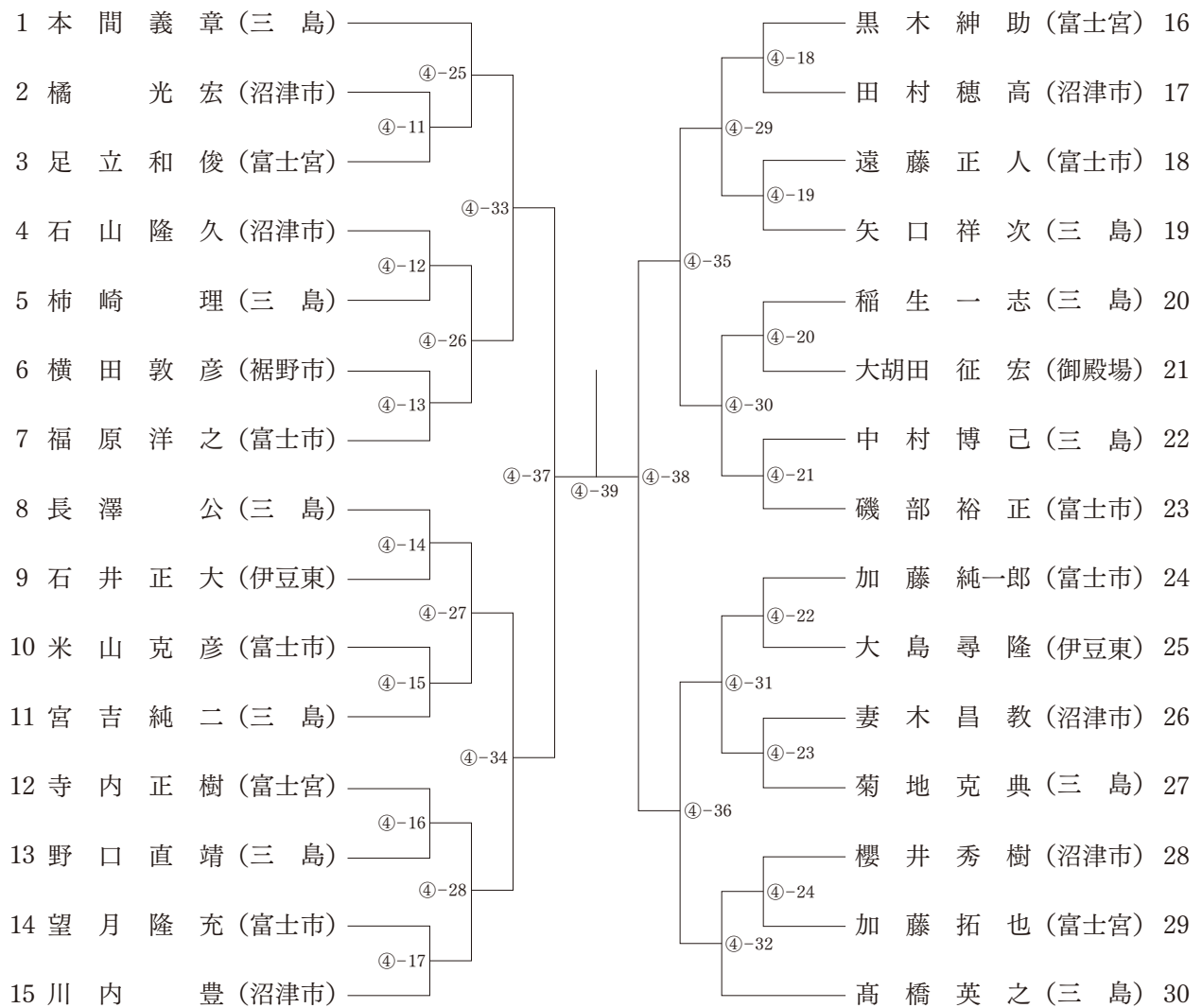
個人戦 男子35歳以上50歳未満の部

東部地区剣道大会
香陵アリーナ



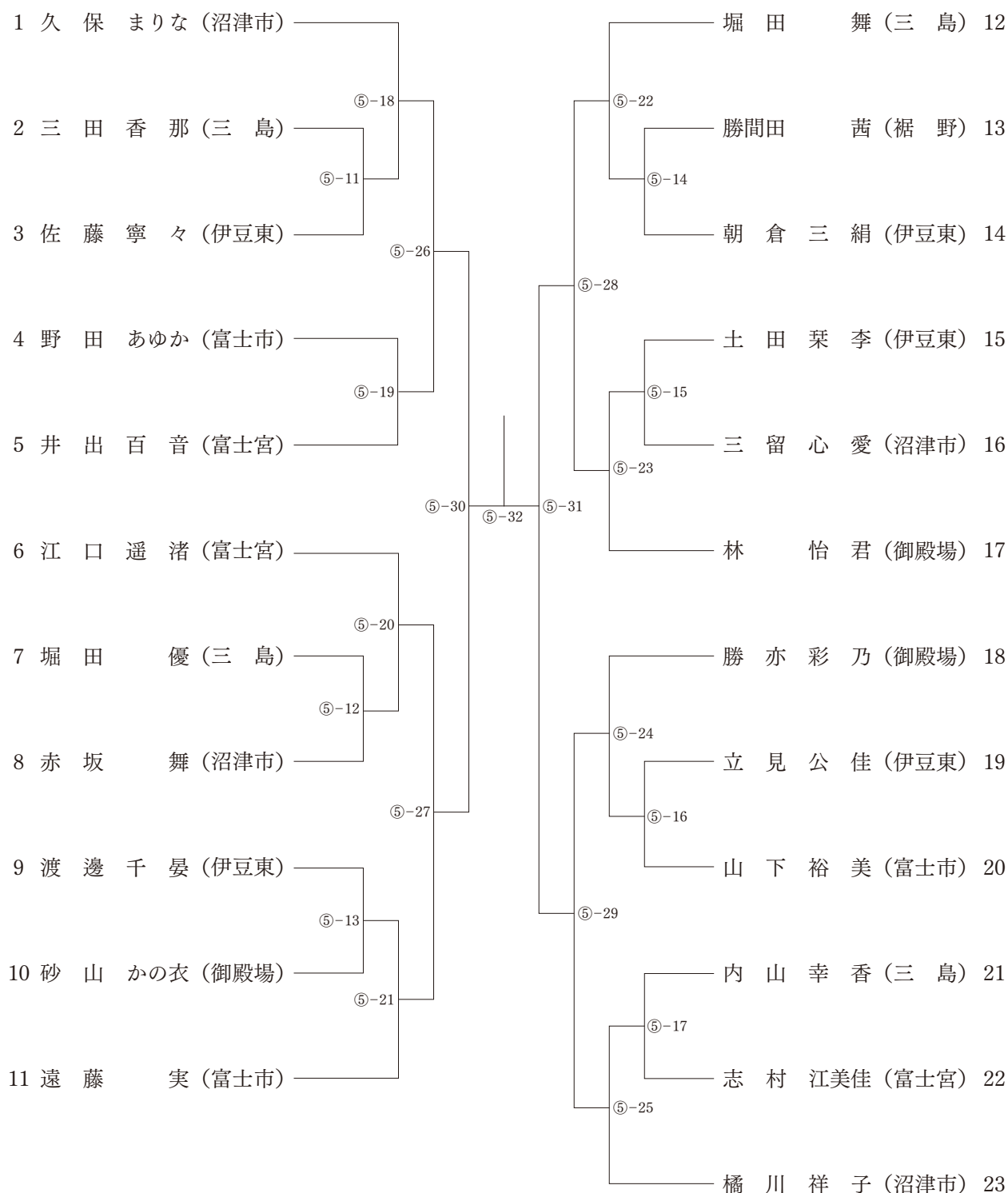
個人戦 男子50歳以上の部

東部地区剣道大会
香陵アリーナ



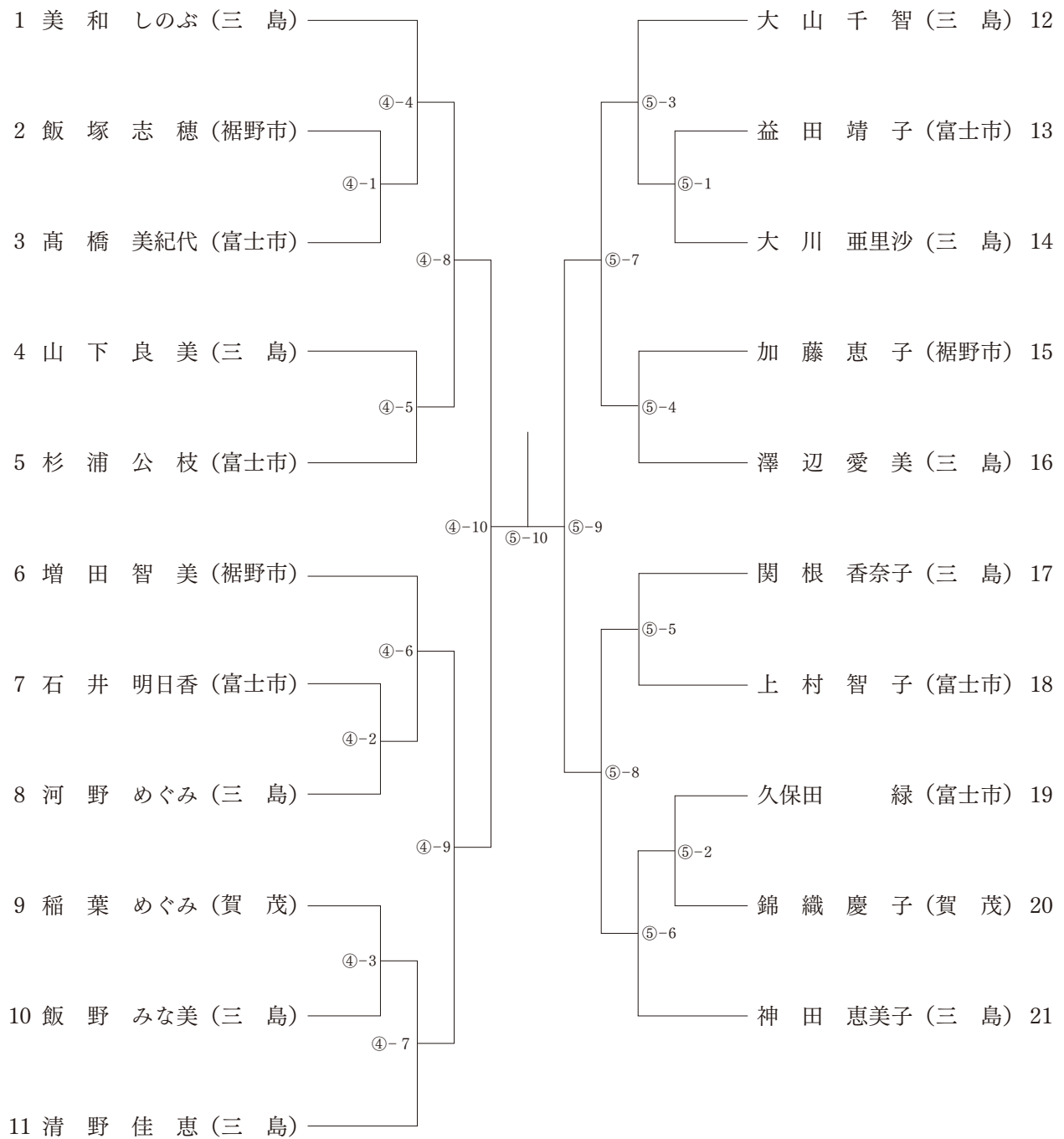
個人戦 女子35歳未満の部

東部地区剣道大会
香陵アリーナ



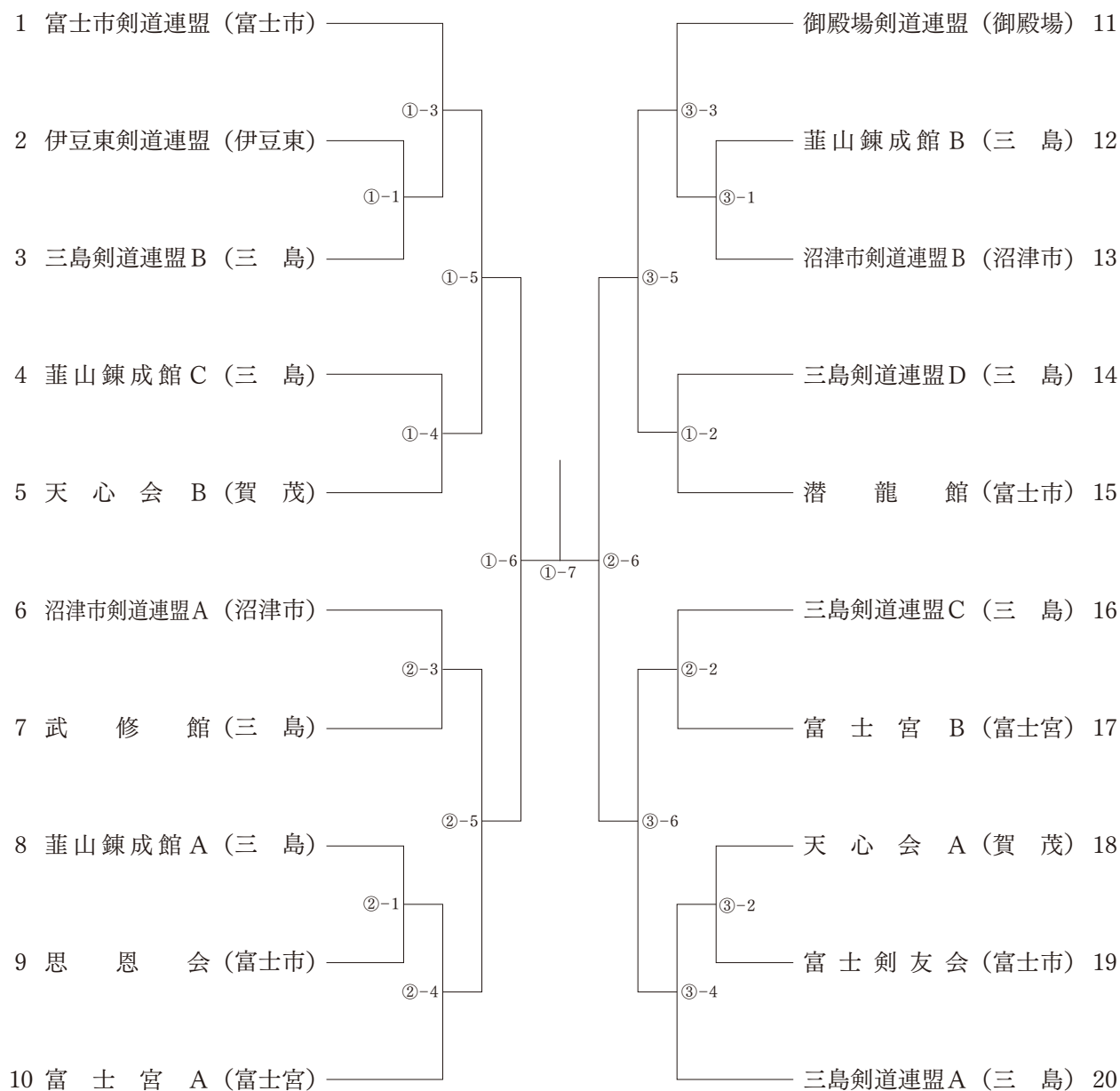
個人戦 女子35歳以上の部

東部地区剣道大会
香陵アリーナ



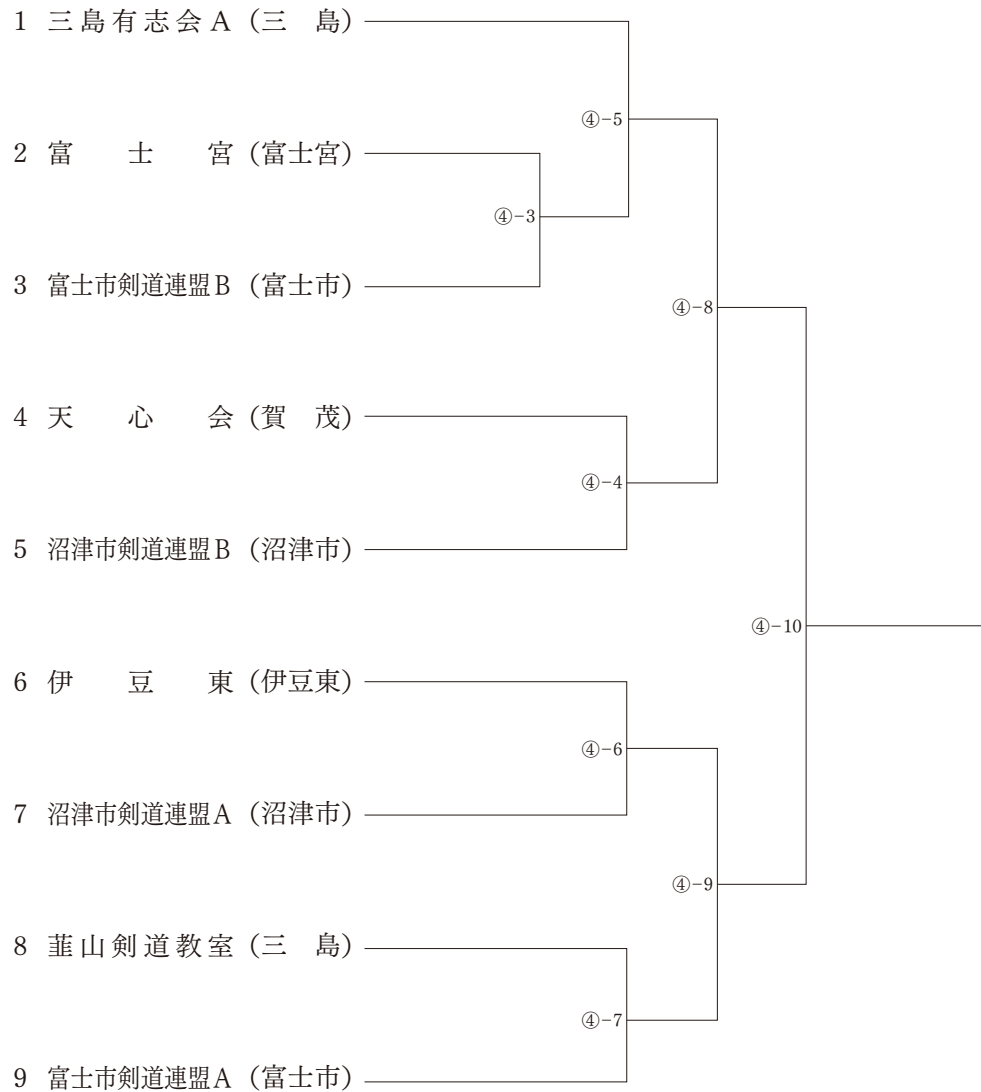
団体戦 男子50歳未満の部

東部地区剣道大会
香陵アリーナ



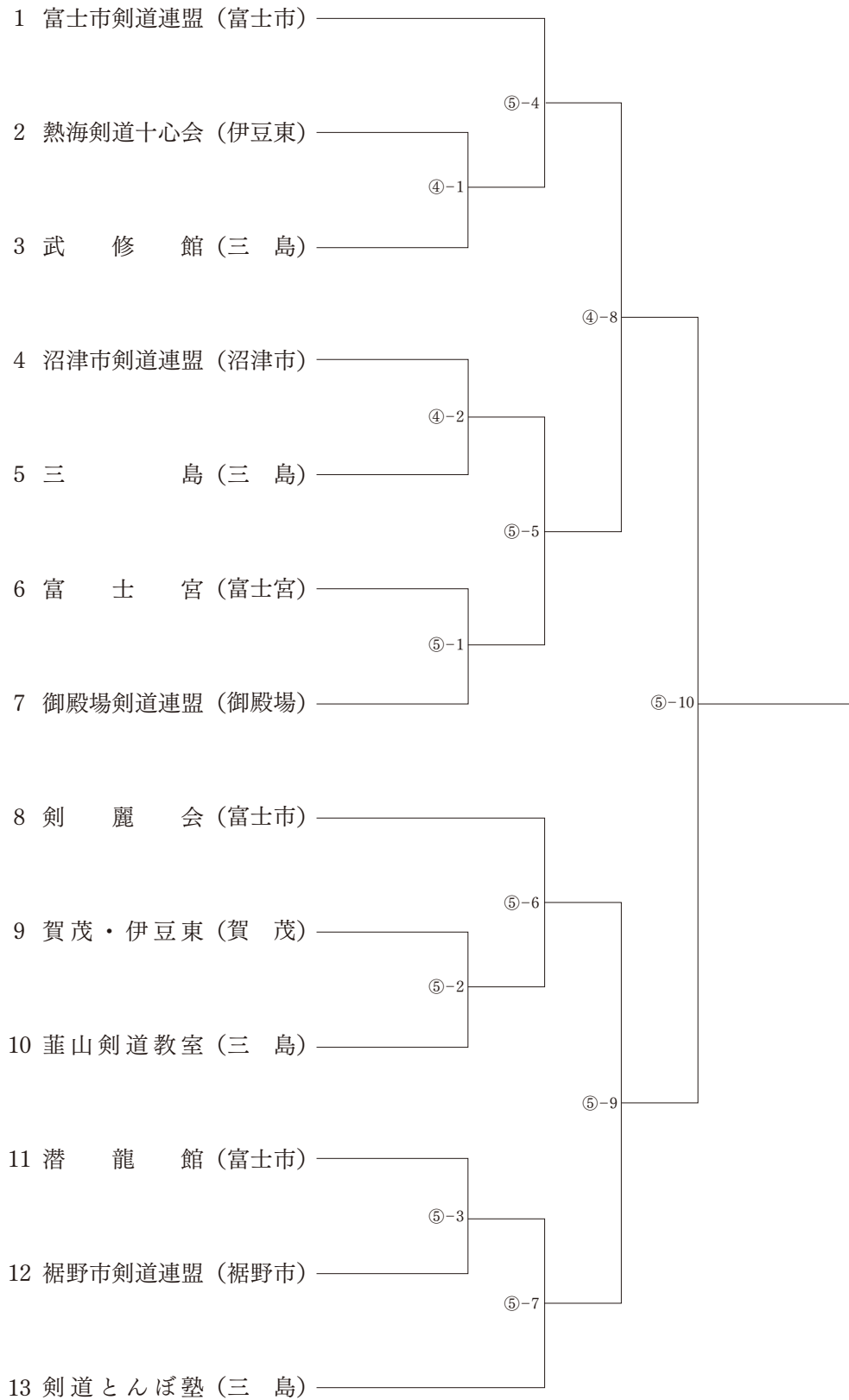
団体戦 男子50歳以上の部

東部地区剣道大会
香陵アリーナ



団体戦 女子の部

東部地区剣道大会
香陵アリーナ



団体戦選手名簿（男子50歳未満の部）

1	団体名	富士市剣道連盟		2	団体名	伊豆東剣道連盟		3	団体名	三島剣道連盟B	
富士市	責任者	遠藤 正人		伊豆東	責任者	菊地 昌司		三島	責任者	斎藤 道隆	
	先鋒	内藤 和志	4		先鋒	日吉 竜仁	3		先鋒	榎本光太郎	3
	次鋒	佐野 剣志	4		次鋒	田鎖 大貴	3		次鋒	横田 啓	3
	中堅	望月 佑馬	5		中堅	山田 晃平	4		中堅	飯塚 祐王	3
	副将	森竹 玲太	5		副将	森山 賢	5		副将	鈴木 健介	3
	大将	森竹 勇弥	6		大将	藤原 寿雄	7		大将	齋藤 亨	7

4	団体名	韮山錬成館C		5	団体名	天心会B		6	団体名	沼津市剣道連盟A	
三島	責任者	斎藤 道隆		賀茂	責任者	小澤 桂治		沼津市	責任者	川内 豊	
	先鋒	加藤 充	3		先鋒	鈴木 陸太	3		先鋒	田村 昂	4
	次鋒	五分一寛恒	2		次鋒	土屋 龍聖	3		次鋒	本間 一輝	3
	中堅	宮田 幸太	4		中堅	宮崎 主税	4		中堅	小池 隼人	4
	副将	木村 司	5		副将	長岡 秀	4		副将	松本 拓真	5
	大将	松本 友輝	6		大将	村山 識	5		大将	村上 隆太	4

7	団体名	武修館		8	団体名	韮山錬成館A		9	団体名	思恩会	
三島	責任者	斎藤 道隆		三島	責任者	斎藤 道隆		富士市	責任者	上柳 暢政	
	先鋒	若田 真光	3		先鋒	宮下 周大	5		先鋒	田中 椋	4
	次鋒	阿左美悠弥	4		次鋒	宮吉 優	3		次鋒	神尾 将吾	3
	中堅	関 隆之介	4		中堅	荻野 喬太	6		中堅	神尾 健太	3
	副将	桑野 紳一	6		副将	佐藤 友哉	3		副将	米山 達彦	5
	大将	中川 政善	5		大将	平田 秀典	6		大将	原 崇仁	7

10	団体名	富士宮A		11	団体名	御殿場剣道連盟		12	団体名	韮山錬成館B	
富士宮	責任者	海野 隆		御殿場	責任者	石原 圭吾		三島	責任者	斎藤 道隆	
	先鋒	遠藤 貴嗣	5		先鋒	高橋 雄馬	3		先鋒	柳室 聡	4
	次鋒	佐野英一郎	5		次鋒	高橋 浩樹	3		次鋒	鈴木 孝明	2
	中堅	高橋 岳生	5		中堅	大塚 俊樹	初		中堅	西尾 友希	6
	副将	木部 友奨	5		副将	石原 圭吾	3		副将	藤原 弘幸	3
	大将	須藤宏一郎	7		大将	佐々木颯馬	4		大将	沓間 健	5

13	団体名	沼津市剣道連盟B		14	団体名	三島剣道連盟D		15	団体名	潜龍館	
沼津市	責任者	川内 豊		三島	責任者	斎藤 道隆		富士市	責任者	望月 隆充	
	先鋒	堀合 優雅	3		先鋒	白井爽一朗	3		先鋒	高田 勝太	5
	次鋒	赤坂 勇馬	3		次鋒	山田 唯在	3		次鋒	上村 岳利	4
	中堅	渡邊 拓真	2		中堅	公野 亨紀	3		中堅	木口 響太	5
	副将	堀合 聖河	3		副将	斎藤 努	6		副将	杉浦大三郎	4
	大将	井桁 輝嵩	2		大将	杉浦康一朗	5		大将	杉浦健二郎	4

16	団体名	三島剣道連盟C		17	団体名	富士宮B		18	団体名	天心会A	
三島	責任者	斎藤 道隆		富士宮	責任者	海野 隆		賀茂	責任者	小澤 桂治	
	先鋒	小林 洸太	3		先鋒	旭 典之	6		先鋒	後藤 清也	2
	次鋒	杉山 輝	3		次鋒	望月 寛之	4		次鋒	山下 啓一	3
	中堅	小平 和翔	3		中堅	深澤 直紀	5		中堅	米山 晃人	5
	副将	三録 朋樹	4		副将	遠藤 大史	7		副将	小澤 桂治	7
	大将	石垣 祐太	3		大将	高柳 悟	7		大将	相馬 良則	5

19	団体名	富士剣友会		20	団体名	三島剣道連盟A	
富士市	責任者	稲葉 弘高		三島	責任者	斎藤 道隆	
	先鋒	加藤 大貴	3		先鋒	引田 永政	4
	次鋒	加藤 大翔	4		次鋒	稲垣 正己	5
	中堅	渡邊 史晃	4		中堅	津呂 聡	3
	副将	渡邊 隆成	3		副将	高橋 哲太	4
	大将	田島 洸平	4		大将	青木 泰寿	7

団体戦選手名簿（男子50歳以上の部）

1	団体名	三島有志会 A	2	団体名	富士宮	3	団体名	富士市剣道連盟 B
三島	責任者	斎藤 道隆	富士宮	責任者	海野 隆	富士市	責任者	遠藤 正人
	先鋒	高橋 英之		先鋒	足立 和俊		先鋒	加藤純一郎
	中堅	中村 博己		中堅	黒木 紳助		中堅	米山 克彦
	大将	矢口 祥次		大将	加藤 拓也		大将	遠藤 正人
4	団体名	天心会	5	団体名	沼津市剣道連盟 B	6	団体名	伊豆東
賀茂	責任者	小澤 桂治	沼津市	責任者	川内 豊	伊豆東	責任者	石井 正大
	先鋒	飯田 敏晶		先鋒	川内 豊		先鋒	石井 正大
	中堅	川尻 一仁		中堅	妻木 昌教		中堅	遠藤 威信
	大将	板垣 宏行		大将	石山 隆久		大将	大島 尋隆
7	団体名	沼津市剣道連盟 A	8	団体名	韮山剣道教室	9	団体名	富士市剣道連盟 A
沼津市	責任者	川内 豊	三島	責任者	斎藤 道隆	富士市	責任者	遠藤 正人
	先鋒	田村 穂高		先鋒	野口 直靖		先鋒	福原 洋之
	中堅	橘 光宏		中堅	菊地 克典		中堅	磯部 裕正
	大将	櫻井 秀樹		大将	長澤 公		大将	望月 隆充

団体戦選手名簿（女子の部）

1	団体名	富士市剣道連盟	2	団体名	熱海剣道十心会	3	団体名	武修館
富士市	責任者	遠藤 正人	伊豆東	責任者	菊地 昌司	三島	責任者	斎藤 道隆
	先鋒	遠藤 実		先鋒	朝倉 三絹		先鋒	飯野みな美
	中堅	山下 裕美		中堅	立見 公佳		中堅	山下 良美
	大将	野田あゆか		大将	土田 栞李		大将	美和しのぶ
4	団体名	沼津市剣道連盟	5	団体名	三島	6	団体名	富士宮
沼津市	責任者	川内 豊	三島	責任者	斎藤 道隆	富士宮	責任者	海野 隆
	先鋒	久保まりな		先鋒	大川亜里沙		先鋒	井出 百音
	中堅	橘川 祥子		中堅	澤辺 愛美		中堅	江口 遥渚
	大将	三留 心愛		大将	大山 千智		大将	志村江美佳
7	団体名	御殿場剣道連盟	8	団体名	剣麗会	9	団体名	賀茂・伊豆東
御殿場	責任者	石原 圭吾	富士市	責任者	久保田 緑	賀茂	責任者	小澤 桂治
	先鋒	林 怡君		先鋒	高橋美紀代		先鋒	渡邊 千晏
	中堅	勝亦 彩乃		中堅	益田 靖子		中堅	錦織 慶子
	大将	砂山かの衣		大将	久保田 緑		大将	稲葉めぐみ
10	団体名	韮山剣道教室	11	団体名	潜龍館	12	団体名	裾野市剣道連盟
三島	責任者	斎藤 道隆	富士市	責任者	望月 隆充	裾野市	責任者	廣瀬 博
	先鋒	三田 香那		先鋒	杉浦 公枝		先鋒	勝間田 茜
	中堅	田地川麻利恵		中堅	石井明日香		中堅	加藤 恵子
	大将	清野 佳恵		大将	上村 智子		大将	増田 智美
13	団体名	剣道とんぼ塾						
三島	責任者	斎藤 道隆						
	先鋒	内山 幸香						
	中堅	堀田 舞						
	大将	堀田 優						

スポーツ // 文化活動 // ボランティア 団体活動のための補償制度

令和7年度
(2025年度)

保険期間
令和7年4月1日から
令和8年3月31日まで

小さな掛金、大きな補償

スポーツ 安全保険



スポあんネット

インターネットでかんたん加入

保険の詳しい内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。



#スポーツチーム #大学クラブ #スポーツ少年団
#放課後事業 #総合型地域スポーツクラブ #教室
#部活動地域移行 #文化系サークル #ボランティア

加入区分・掛金（年度初回加入時は4名以上）

加入対象者	補償対象となる団体・グループ活動		加入区分	年間掛金 (1人当たり)
※ 子ども (中学生以下)	スポーツ活動 文化活動 ボランティア活動 地域活動		A1	800円
大人 (高校生以上)	スポーツ活動(指導・審判を含む) ●A2区分で対象となる活動も補償されます。		C 64歳以下	1,850円
			B 65歳以上	1,200円
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体員の送迎 ●スポーツ活動中の事故は補償の対象外です。		A2	800円
全年齢	危険度の高いスポーツ(指導・審判を含む)		D	11,000円
※ 子ども (中学生以下)	ワ(個人活動補償型) イドコース	A1 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	AW	1,450円
大人 (高校生以上)		C 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	CW 64歳以下	4,850円
		B 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	BW 65歳以上	5,000円

※特別支援学校高等部の生徒を含みます。 年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。
(注)C・B・CW・BW区分の年齢の判断は「令和7年4月1日」を基準とします。

本広告はスポーツ安全保険の概要を掲載しており、ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」及び「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款及び特約書によりますが、ご不明の点については(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)へお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社 ☎ 0120-233-801
担当課 公務第2部 文教公務室 (平日9:00~17:00)

〈共同引受保険会社(令和7年4月予定)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保

公益財団法人スポーツ安全協会
<https://www.sportsanzen.org>

